

市民環境アカデミー

募集要項

- 対象 市内在住、在勤、在学の方
全講座を受講できる方
- 定員 40人（定員を超えた場合は抽選）
- 受講料 無料
- 申込期限 7月28日（金）＜必着＞
- 申込方法 右のQRコードから。



お申し込みはこちらから

または、ハガキかファックスに

- ①市民環境アカデミー参加
- ②氏名（ふりがな）
- ③住所
- ④電話番号
- ⑤年齢

をご記入のうえ、下記申込先まで送付してください。

問合せ・申込先

春日井市環境部環境政策課

〒486-8686 春日井市鳥居松町5丁目44番地

TEL：0568-85-6216 FAX:0568-84-8731

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等により中止や延期、
内容の変更等の可能性があります。ご了承のうえ、お申し込みください。



市民が家庭や地域での環境活動を率先して実践していくため、地球温暖化、ごみ減量、生物多様性など、各分野の第一線で活躍されている講師陣から幅広く環境について学ぶことができます。

各講座の内容・講師・日程などは中面、募集要項については裏面をご覧ください。

2050年二酸化炭素排出量実質ゼロの実現に向けた
地球温暖化対策の取組みを着実に進めていくため

令和3年6月22日に「ゼロカーボンシティかすがい」を
宣言しました。

令和5年度 春日井市 市民環境アカデミー

日時		会場	タイトル	概要	講師	プロフィール	
1	9/29(金)	文化フォーラム春日井 (春日井市鳥居松町5-44)	開講式	オリエンテーション	市職員	-	
	13:45~ 14:00		エネルギーと環境問題 〈エネルギー環境政策〉	「戦争の歴史はエネルギーの歴史」。エネルギー確保は国家にとっても市民にとっても重要課題です。なぜなら、エネルギーは経済活動や市民生活の必需品だからです。ロシアのウクライナ侵攻は、日本はもとより世界を震撼させるエネルギー危機をもたらしました。「温暖化対策がこのエネルギー危機を増幅させた」。そんな側面があることをご存じでしょうか。本講座では、地球温暖化と関係深いエネルギーの問題を学ぶことで、エネルギーと環境に関する理解を深めます。	名古屋学院大学経済学部 教授 木船 久雄	【専門分野】 資源経済学、エネルギー環境政策 【研究テーマ】 地球温暖化対策、エネルギー産業政策 【活動】 経産省「総合エネルギー統計検討会」座長、(一社)海外電力調査会 非常勤理事、(一財)日本エネルギー経済研究所客員研究員 【著書】 『エネルギー政策の新展開』(共編著)2017年ほか	
2	10/26(木)	文化フォーラム春日井 (春日井市鳥居松町5-44)	地質学と地球温暖化 〈地質学と地球温暖化〉	地球温暖化の影響は、世界的において平均気温の上昇、短時間豪雨や大雨による自然災害、熱中症搬送者数の増加など様々な場面で現れています。今回の講義では、地球温暖化の要因は何かを地球の歴史から考え、その上で、資源エネルギー消費の変遷、二酸化炭素固定化技術、再生可能エネルギーについて紹介します。	名古屋経済大学犬山学研究センター 客員教授 高橋 裕平	【専門分野】 地質学 【研究テーマ】 花こう岩と鉱物資源 【委員歴】 地学辞典項目選定委員 【著書】 『地球の探求』(朝倉書店・共著)ほか	
3	11月21日 (火)	文化フォーラム春日井 (春日井市鳥居松町5-44)	モータースポーツにおけるカーボンニュートラル 〈カーボンニュートラル〉	一見カーボンニュートラル(CN)とモータースポーツは対極の様に思われますが、レースは走る実験室としてCNへの貢献に期待が掛かっています。レースにおけるCN燃料(水素、バイオ、e-Fuel)やCN材料(タイヤ、バッテリー)の取り組みを紹介し、モータースポーツファン以外の方にもCN社会実現へ向けて一緒に考えたいと思います。	株式会社日本レースプロモーション テクニカルアドバイザー 永井 洋治	メーカーにて30年以上モータースポーツ開発に従事。F1,IRL(インディ・レーシング・リーグ),SF(全日本スーパーフォーミュラ選手権)などのレースでの開発経験を活かし、現在は環境とレースの両立を図るNEXT50プロジェクトに参画中。	
4	12/9(土)	東部市民センター (春日井市中央台2-2-1)	マシンガンズ滝沢さんと考えるごみ問題～清掃員から見た景色～ 〈ごみ減量、リサイクル〉	ゴミ問題は世界的に深刻な問題になっていて、日本ではあと数十年後にはゴミを埋め立てる場所がなくなります。また、ポイ捨てやゴミの不法投棄によって、山や海などの環境が破壊されています。今回の講義では、ゴミ収集の現場で働いていると見えてくる「ゴミ出しからわかる『ライフスタイル』」、「『食品ロス問題』」などの問題を今までは少し違った見方で紹介します。	お笑い芸人「マシンガンズ」 滝沢 秀一	お笑いコンビ「マシンガンズ」として活動の傍ら、定収入を得るためにゴミ収集会社に就職。ゴミ清掃員としての日常から見えてくる格差社会やゴミ問題、ゴミ清掃業界の優れた人材など、清掃員の日常を綴ったツイートが人気を集める。講演では、お笑い芸人がゴミ清掃を始めてたどりついた“ゴミ学”を語り尽くす。	
5	1/16(火)	文化フォーラム春日井 (春日井市鳥居松町5-44)	生物多様性は大事なの?～植物を 求める旅から見たこと～ 〈植物分類学・生物多様性〉	生物多様性という言葉がよく聞かれるようになりましたが、生物多様性とはどういうことなのでしょう?生物多様性を守ることは、人間にとって大事なのでしょうか?今回の講義では、生物多様性や生物の絶滅などについて学ぶとともに、植物分類学や生態学の野外調査体験を聞くことで、生物多様性の重要性について考えてみましょう。	名古屋大学博物館 准教授 西田 佐知子	【専門分野】 植物分類学・生態学 【研究テーマ】 植物の分布を説明する繁殖干渉の研究など 【経歴】 京都大学文学部卒。NHKでディレクターとして勤務した後、京都大学大学院人間・環境学研究科で学ぶ。 【著書】 『研究するって面白い!』(岩波書店・分担執筆) 『新しい植物分類学』(講談社・共著)ほか	
6	2/15(木)	文化フォーラム春日井 (春日井市鳥居松町5-44)	海洋汚染の防止と国際社会 〈海洋汚染の防止、海洋生態系・ 生物多様性の保全〉	近年、廃プラ削減のため、レジ袋が有料化されたり、飲食店で提供されるストローが紙製に変更されたりしていますが、理由の1つにあげられるのが「海洋汚染の防止」です。陸上で発生したプラスチックは、適正に処理されなければやがて海までたどり着き、様々な弊害をもたらします。廃プラ以外にも海洋汚染の原因となるものは数多くあり、世界共通の課題となっています。今回の講義では、国際社会は様々な海洋汚染をどのように防止しようとしてきたのか、事例を交えて解説します。	中部大学国際関係学部国際学科 教授 加々美 康彦	【専門分野】 海洋法、海洋政策 【研究テーマ】 海洋保護区、海洋境界画定、太平洋島嶼国際 【活動等】 日本海洋政策学会理事、太平洋諸島学会理事など 【著書】 『海洋保全生態学』(講談社・共編著)ほか	
			15:45~ 16:15	閉講式	修了証交付	市職員	-

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等により中止や延期、内容の変更等の可能性があります。